

訓練、大津波警報 が発表されました

平成29年度登別市総合防災訓練



9月30日(土)、登別地区で『平成29年度登別市総合防災訓練』(登別市防災会議主催)を実施しました。

総合防災訓練は、大規模な災害に備え、市民や関係機関、市が一体となって訓練を実施することで、防災意識の向上を図ることを目的に、2年に一度、実施しています。平成27年度は悪天候により中止したため、4年ぶりの実施となった今回。登別地区の市民などと連携して行う『津波避難訓練』、防災関係機関と連携して実施する『会場実動訓練』の二部構成で行い、登別市連合町内会や行政機関、多くの民間団体・企業から約500人の方が参加しました。

『津波避難訓練』は、十勝沖を震源とするマグニチュード9・0の地震が発生し、大津波警報が発表された想定で実施。防災行政無線の放送や電子メールでの情報発信などにより、情報伝達訓練を行ったほか、参加した市民の方は、高台の避難場所までの避難訓練を行い、避難の経路や所要時間を確認しました。

『会場実動訓練』は、フンペン山で北海道の防災ヘリによる『孤立避難者救出訓練』が行われたほか、登別中学校のグラウンドを会場として各防災関係機関により実施。災害発生後に起きうる状況を想定し、登別管工事業協同組合による『配管復旧・



▲津波により避難者が孤立したことを想定して行われた『孤立避難者救出訓練』



▲地震で破損した箇所を土のうを設置し、河川の氾濫を防ぐ『土のう設置訓練』



▲大津波を想定し、登別地区全域で高台の避難場所までの避難訓練に取り組んだ『津波避難訓練』



▲災害で水道管が破損したことを想定した『配管復旧・給水訓練』



▲薪をくべて使う、燃料効率の良い『ロケットストーブ』の製作体験

給水訓練』、消防団や登別建設協会による『土のう設置訓練』、陸上自衛隊の野外炊事用トレーラーを用いた『炊出し訓練』など、実践的な訓練を行いました。そのほか会場では、防災関連グッズの展示や『ロケットストーブ』の製作体験など、多くの展示・体験も行われ、参加者は災害への日頃の備えについて学びました。

また、総合防災訓練の実施に合わせ、登別市障害者福祉関係団体連絡協議会が、津波を想定し、障がいのある方が地域の方からサポートを受けながら避難する訓練を行ったほか、幌別西地区でも自主的な避難訓練が行われました。さまざまな方が訓練に取り組み、地域の防災力の向上に努めた一日となりました。

※ロケットストーブの関連記事は、21ページ。